

A data sheet for the film, featuring a clapperboard icon and a pushpin at the top. The text reads 'Data' followed by '脚本・監督・出演: アニエス・ヴァルダ, JR'. Below this, there are several horizontal lines for additional information.

■■ショートコメント■■

◆女性監督の先駆者として「ヌーヴェル・ヴァーグの祖母」とも呼ばれ、2015年にはカンヌ国際映画祭で史上6人目となるパルム・ドール名誉賞を受賞したのがアニエス・ヴァルダ。他方、一般の人が自分のポートレートをプロジェクトのホームページに送り、大きなポスターになって返送されてきた写真を好きな場所に貼る、という参加型アートプロジェクト『Inside Out (インサイド・アウト)』で知られるフランス人アーティストがJR (ジェイ・アール) だ。そして、本作はそんな2人がフランスの田舎を旅しながら、村々に住む市井の人々と接し作品と一緒に作り残していく、ロードムービースタイルのハートウォーミングなドキュメンタリーだ。

◆JRが撮る写真は面白いし、それを拡大して大きなポートレートとして張り出すアートも面白い。それにしても、1983年生まれで、常に帽子とサングラスを離さないJRと、アニエス・ヴァルダは54歳も歳が離れているというから、アニエスは90歳・・・?そこで調べてみると、このおばあさんは1928年生まれというからビックリ!その活動力はもとより、90歳になってもなお失わない発想の柔軟性には、ただただ感服するばかりだ。

◆2人の旅の条件は、“計画しないこと”。しかして、スクリーン上にはそんな条件通りの旅の姿が映し出され、行く先々での人々との交流の姿や、その土地ごとにあっと驚く大きなポートレートが登場するので、それに注目! 89分という時間も最適だ。真夏の日本にしながら、冷房の効いた試写室でこんないいものを観せてもらったことに感謝!

2018 (平成30) 年8月17日記